



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

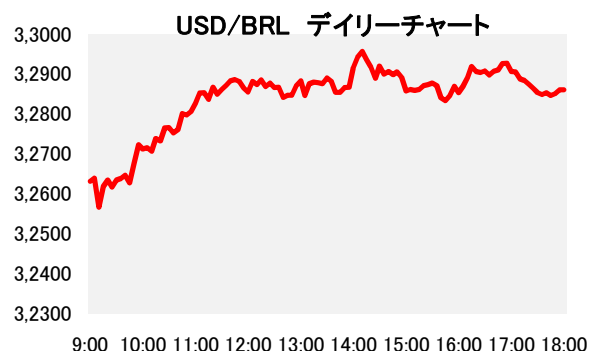
1. マーケット・レート

			7月19日	7月20日	7月21日	7月22日	7月25日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2490	3.2600	3.2710	3.2560	3.2860	+0.0300
	BRL/JPY	Spot	32.65	32.78	32.36	32.60	32.20	-0.40
	EUR/USD	Spot	1.1019	1.1015	1.1026	1.0977	1.0994	+0.0017
	USD/JPY	Spot	106.12	106.88	105.83	105.99	105.82	-0.17
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.815	13.809	13.888	13.885	13.869	-0.016
	Future	1Year(p.a.)	13.131	13.125	13.268	13.282	13.278	-0.004
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.218	2.140	2.260	2.324	2.295	-0.029
	USD	1Year(p.a.)	2.511	2.449	2.471	2.482	2.462	-0.020
株式	Bovespa指数		56698	56578	56641	57002	56873	-129
CDS	CDS Brazil 5y		290.16	287.50	288.81	284.32	291.97	+7.65
商品	CRB指数		186.104	185.086	183.666	182.901	181.310	-1.59

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

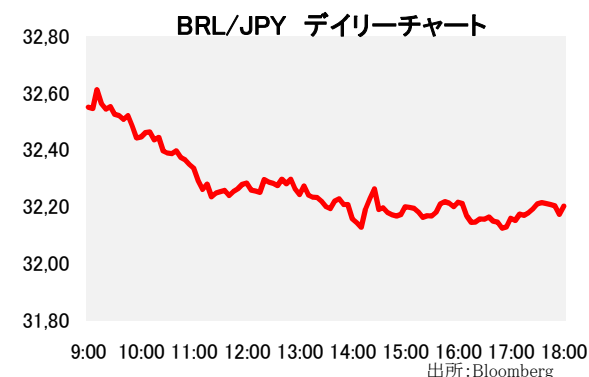
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.35%	0.36%	0.41%
FGV消費者信頼感	--	76.7	71.3
Federal Debt Total	--	2959b	2879b
貿易収支(週次)	--	\$852m	\$1511m
(米)ラ連銀製造業活動	-10.0	-1.3	-18.3



3. 要人コメント

メイレス伯財務相	必要があれば増税する予定だが、今の段階ではその必要性はない
----------	-------------------------------



4. トピックス

- 本日のレアルは3.2560で寄り付き後、直ぐさま本日の高値となる3.2550を付けたが、伯中銀によるドル買い介入が実施されたほか、米FOMCでタカ派的な姿勢が示される可能性があるとの見方を受けてドル買いが優勢となり、レアルはじりじりと反落した。午後に入ってレアルは日中安値となる3.2960を付け、結局3.2860でクローズした。
- 在庫が潤沢な状況にもかかわらず、米国の石油リグ稼働数が4週連続で増加したことを嫌気し、WTI原油先物が大幅続落、3カ月振りの安値を付けた。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が-3.25%から-3.27%に下方修正され、2017年予想は+1.10%に据え置かれた。また、2016年のインフレ率予想は7.26%から7.21%に下方修正され、2016年末の予想為替レートは3.39から3.34へレアル高方向に小幅修正された。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作権であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。